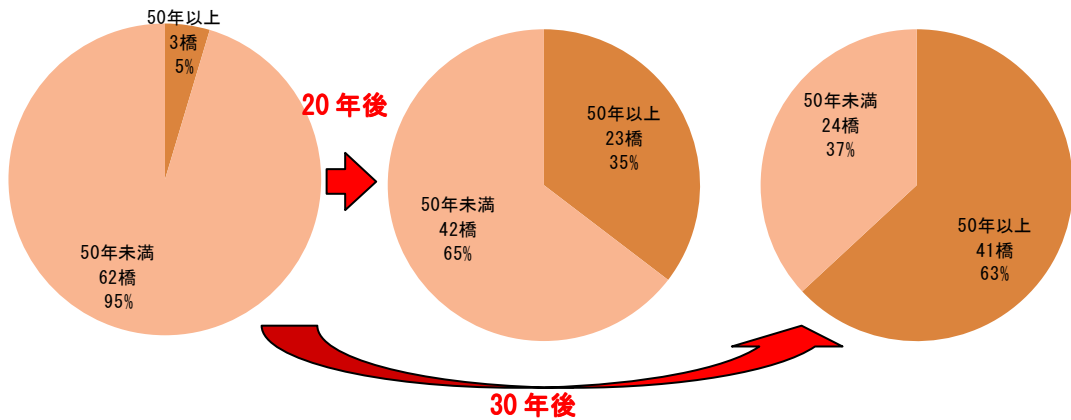


# 若狭町 橋梁長寿命化修繕計画

## <橋梁長寿命化修繕計画策定の背景・目的>

- ◆若狭町では、平成 23 年度現在 494 橋の橋（橋長 2m 以上）を管理しています。
- ◆修繕計画を策定する橋長 15m 以上の橋梁（65 橋）のうち、「高齢化橋梁」といわれる建設後 50 年以上を経過した割合は、現在の 5%から **30 年後には 63%まで増加**し、橋の高齢化が急速に進みます。

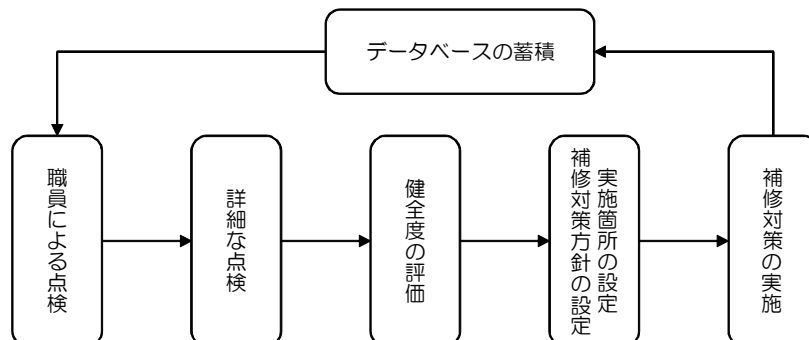


建設後 50 年以上経過した橋の推移（橋長 15m 以上）

- ◆このような背景から、今後橋の修繕・架替え費用が急増することが予想され、これまで行われてきた損傷が進行してから修繕を行う「事後保全型」の維持管理では、修繕するための費用が不足し、安全性・信頼性を確保するための適切な維持管理が困難となる恐れがあります。
- ◆これより、「事後保全型」の維持管理から、損傷の小さいうちに修繕を行う「予防保全型」の維持管理へ移行し、橋の延命化によるコスト縮減を図る必要があります。

## <職員による点検の実施>

- ◆若狭町では、今後「福井県橋梁定期点検マニュアル（案）」にもとづく職員による橋の点検を行います。
- ◆点検した結果は、随時データベースに蓄積し将来の維持管理に利用します。



### <補修対策の実施>

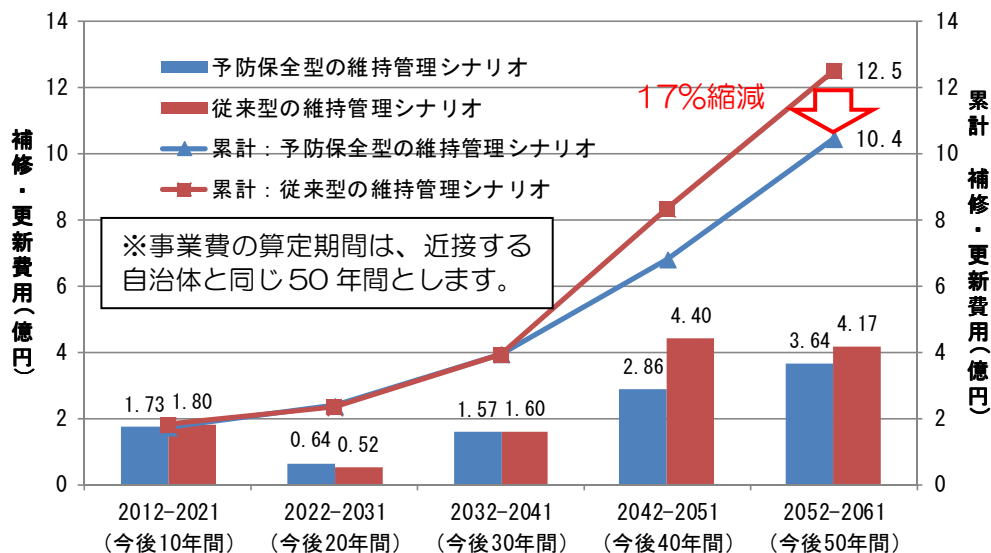
- ◆平成 23 年度に作成した長寿命化修繕計画に従い、平成 24 年度から橋梁の計画的な補修対策の取り組みを開始します。
- ◆平成 12 年には浦見川橋の塗装の塗替え工事を実施しており、今後も損傷している橋梁を順次修繕していきます。

### <今後の方針>

- ◆八丁小橋は、橋の重要度が高く、修繕が必要な損傷が見られることから、優先的に修繕を実施します。
- ◆今後 10 年間で 7 橋程度の橋の修繕を行う予定です。

### <橋梁長寿命化修繕計画により見込まれる効果>

- ◆橋梁長寿命化修繕計画に基づいた適切な管理をすることによって、橋の寿命を延ばすことが可能となり、従来型と比較して将来的には約 17%のコスト削減効果が期待できます。



### <意見を頂いた学識経験者>

- ◆この計画は、「若狭町橋梁長寿命化修繕計画策定委員会」より、助言を頂いて作成しております。

鳥居 和之 金沢大学 理工研究域環境デザイン学系 教授  
谷脇 一弘 福井工業大学 土木環境工学科 教授  
磯 雅人 福井大学 工学部建築建設工学科 准教授  
阿部 孝弘 福井工業高等専門学校 環境都市工学科 教授



若狭町建設課  
福井県三方上中郡若狭町中央 1-1